

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科／子ども教育学科			
科目名称	現代人のこころ							授業形態		講義	
科目コード	750014	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	岩切 様子									ICT活 用	
授業概要	人のこころはどのようにすれば理解できるでしょうか。その方法の一つとして、心理学を学ぶことが挙げられます。 心理学は、認知心理学・学習心理学・人格心理学・発達心理学・社会心理学・臨床心理学など、多くの領域に分かれて人のこころにつ いて研究しています。 この講義では、心理学の主な領域の代表的な理論を紹介します。 それらを学ぶことにより、人のこころについての知識を得ること、理解を深めることがこの授業の目的です。										
関連する科目											
授業の進め方 と方法	講義を中心とします。 毎回、スライドを示し、スライドに対応した資料（穴埋め式）を配布します。 随時、思考や理解を促すためのクイズ等に回答してもらったり、授業内容に関連した心理学実験や心理尺度の体験をしてもらったりす るなどの時間を設けます。 講義終了時には、毎回、小レポート（講義内容に対する感想・考え・質問）を書いてもらいます。										
授業計画 【第1回】	心理学とは：心理学とはどのような学問かを学ぶ。										
授業計画 【第2回】	感覚・知覚：ものを見るしくみについて学ぶ。										
授業計画 【第3回】	記憶：記憶のしくみについて学ぶ。										
授業計画 【第4回】	学習：人の行動がどのようなしくみでつくられているのかについて学ぶ。										
授業計画 【第5回】	思考：人の思考の特徴について学ぶ。										
授業計画 【第6回】	動機・情動：人の行動を引き起こす動機にはどのようなものがあるのか、情動はどのようなしくみで起こるのかについて学ぶ。										
授業計画 【第7回】	知能：知能とは何か、どうやってはかるのかについて学ぶ。知能と関連の深い創造性についても取り上げる。										
授業計画 【第8回】	性格：性格を理解するための方法について学び、自分の性格についても理解を深める。										
授業計画 【第9回】	発達①-これまでのこころの発達：乳幼児期・児童期のこころの発達について学ぶ。										
授業計画 【第10回】	発達②-これからのこころの発達：青年期・成人期・老年期のこころの発達について学ぶ。										

授業計画 【第11回】	社会①-対人認知：人は他者をどのように理解しているのかについて学ぶ。
授業計画 【第12回】	社会②-対人関係：他者との関係をつくり、維持していくためのコツについて学ぶ。
授業計画 【第13回】	社会③-集団：集団の中で人はどのように行動するのかについて学ぶ。
授業計画 【第14回】	臨床①-こころの不調：ストレスについて学ぶ。
授業計画 【第15回】	臨床②-こころを支える：カウンセリング・心理療法について学ぶ。
授業の到達目標	1. 心理学の代表的な理論を理解できる。 2. 日常生活における人（自分や他者）の行動を、心理学の理論を用いて説明できる。 3. 心理学理論の学びや心理学実験・心理尺度の体験を通じて、自己理解を深めることができる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)
授業時間外学習【予習】	配布資料とスライドに次回内容及びキーワードを示しますので、参考書等を利用して、次回の講義内容の概略を把握し、キーワードについて調べておいてください。提出の必要はありません。（1時間半程度）
授業時間外学習【復習】	配布資料とスライドに課題を示しますので、それに取り組んでください。その他、授業で学んだ内容を自分なりにまとめ直ししてください。興味を持ったこと・疑問に感じたことは、参考書等で調べて理解を深めてください。いずれも提出の必要はありません。（1時間半程度）
課題に対する フィードバック	小レポートについては、一部の感想・考え・質問を次回授業の冒頭で取り上げ、コメントします。 最終試験については、答案回収後、評価のポイント等を解説します。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 1. 毎回の小レポート-45点（3点×15回） 2. 最終試験（持ち込み可）-55点
テキスト	なし。 毎回資料を配布します。
参考書	1. サトウタツヤ・渡邊芳之（著）『心理学・入門-心理学はこんなに面白い 改訂版』有斐閣アルマ（1,900円＋税） 2. 山崎晃・浜崎隆司（編著）『新・はじめて学ぶこころの世界』北大路書房（2,500円＋税） 3. 長谷川寿一・東條正城・大島尚・丹野義彦・廣中直之（著）『はじめて出会う心理学 第3版』有斐閣アルマ（2,000円＋税）
備考	小レポートは出席確認にも使用します。 講義終了時に提出した場合「出席」と処理します。 提出しなかった場合は「欠席」と処理しますので注意してください。 提出されていても、出席と認められない行為が判明した場合は、それ相応の対応をします。

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		環境園芸学科／子ども教育学科／管理栄養学科／食品開発科学科		
科目名称	現代人のこころ						授業形態		講義	
科目コード	750014	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		○	アクティブラーニング	○
担当教員名	松元 大地								ICT活用	○
授業概要	本授業では、現代人のこころを理解するために、心理学の基礎的な考え方と主要領域の知見を学ぶ。心理学が心をどのような方法で捉える学問であるかを理解したうえで、感覚・知覚、記憶、学習、思考、感情、動機づけ、知能、性格、発達、対人関係、社会行動、ストレス、心の支援などを幅広く扱う。授業を通して、心理学の基礎概念を身につけるとともに、現代社会における自己理解・他者理解・人間関係・心の健康の問題を心理学的視点から考える力を養う。あわせて、公認心理師としての実務経験を踏まえ、教育・対人援助・心理支援の現場でみられる具体例も紹介し、心理学の知見が現実の生活や支援実践にどのように結びつくかを学ぶ。									
関連する科目	教育心理学 カウンセリング概論 教育相談									
授業の進め方と方法	授業は講義を中心として進める。心理学の基礎的な知識や考え方を体系的に学べるよう、各回のテーマに沿って内容を整理しながら解説する。授業では、理解を助けるためにスライド資料を用い、必要に応じて身近な事例や簡単な体験活動を取り入れながら、心理学の知見を日常生活や現代社会の問題と結びつけて考える。成績評価に関わる小テストやレポートは実施せず、学習内容の理解度は学期末のマーク式試験によって評価する。									
授業計画【第1回】	心理学とはどのような学問かを学ぶ。 あわせて、心を科学的に理解するための基本的な考え方と方法について理解する。									
授業計画【第2回】	人は外界の情報をどのように受け取り、意味づけているのかを学ぶ。 感覚と知覚の違いや、知覚の特徴について理解する。									
授業計画【第3回】	記憶の仕組み、記憶の種類、忘却の特徴について学ぶ。 記憶が学習や日常生活にどのように関わっているかを理解する。									
授業計画【第4回】	人の行動がどのように形成され、変化していくのかを学ぶ。 条件づけや観察学習など、学習の基本的な仕組みについて理解する。									
授業計画【第5回】	人がどのように考え、判断し、問題を解決するのかを学ぶ。 思考や意思決定の特徴について、心理学の視点から理解する。									
授業計画【第6回】	感情の働きと、人の心や行動に与える影響について学ぶ。 感情が適応や対人関係に果たす役割について理解する。									
授業計画【第7回】	人の行動を方向づけ、支える動機づけの仕組みについて学ぶ。 欲求や目標と行動との関係について理解する。									
授業計画【第8回】	知能とは何か、知能をどのように捉えるのかについて学ぶ。 知能の個人差や測定の考え方について理解する。									
授業計画【第9回】	性格を理解するための基本的な考え方と、性格の個人差について学ぶ。 性格の特徴をどのように捉えるかについて理解する。									
授業計画【第10回】	人のこころが生涯を通してどのように変化し、発達していくのかを学ぶ。 発達段階ごとの特徴と課題について理解する。									

授業計画 【第11回】	対人認知、コミュニケーション、対人関係の成り立ちについて学ぶ。 人と人との関わりを心理学の視点から理解する。
授業計画 【第12回】	集団、同調、援助行動、偏見など、社会的状況と人の行動との関係を学ぶ。 個人の行動が社会から受ける影響について理解する。
授業計画 【第13回】	ストレスの仕組み、心身への影響、心の健康を保つための考え方を学ぶ。 現代社会におけるストレスへの対処の基本について理解する。
授業計画 【第14回】	発達障害、知的障害、統合失調症、気分障害、不安障害などについて学ぶ。 心理学的な理解と支援の基本的な考え方について理解する。
授業計画 【第15回】	臨床心理学の成り立ち、心理アセスメント、心理療法、実践の場について学ぶ。 心理的支援の基本的な考え方と臨床心理学の役割について理解する。
授業の到達目標	本授業では、心理学とはどのような学問であるかを理解し、説明できるようになることを目標とする。あわせて、感覚・知覚、記憶、学習、思考、感情、動機づけ、知能、性格、発達、対人関係、社会、臨床など、心理学の主要領域の基礎概念を理解し、説明できるようになることを目指す。さらに、心理学の知見を日常生活や現代社会における人間の行動、対人関係、心の健康の問題と関連づけて考えることができるようになることを目標とする。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外学習【予習】	各回の授業テーマに対応するテキストの該当章を事前に読み、概要を把握しておくこと。目安時間は1時間程度とする。
授業時間外学習【復習】	授業後に、授業で扱った内容に対応するテキストの該当章を読み直し、重要語句や要点を確認すること。目安時間は1時間程度とする。
課題に対する フィードバック	定期試験終了後に、授業内で講評を行い、評価のポイントや重要事項について解説する。
評価方法・基準	定期試験100%とする。定期試験はマーク式で実施し、授業で扱った基礎概念、重要語句、心理学の基本的な考え方についての理解度を評価する。
テキスト	無藤隆・森敏昭・池上知子・福丸由佳編『よくわかる心理学』ミネルヴァ書房、2009年、ISBN978-4-623-05250-9
参考書	
備考	